



## 水道の水はどこからくるの

### 川や地下水の水を引いてくる

水道の水のほとんどは、川や地下水の水を利用しています。日本では、川の水が水道全体の約70パーセントをしめています。川から取り入れた水は、導水管を通して浄水場に送られます。浄水場では、その水を飲み水にふさわしい水質にします。そのあと、送水管を通して配水池に送られます。配水池の水は、道路の下にうめてある配水管を通して、それぞれの家まで送りとどけられています。

### 浄水場の役割

東京や大阪などの大都市周辺にある川は、かなり汚れています。このような汚れた川の水が飲めるとはとても思えませんが、大切な水源ですから、それらの汚れをとりのぞいたり、消毒したりして、飲める水に変えてから家庭に送っているのです。そのため、浄水場では、より安全な水、よりおいしい水を作ろうとして、日夜、努力をしているのです。

しかし、きたない川の水を消毒してなんとか飲めるようにした水と、もともときれいな川の水とでは、水の味はまるでちがいます。よく都会の水道の水がまずく、地方の水道の水はおいしいといわれますが、それはこのような理由からなのです。（監修・田代 脩）

上水道の水の流れ

